

問 市内で分娩機能を有する産婦人科を再開することは可能か。

答 産婦人科の再開は公約に位置付けており、今後関係機関や医師を派遣している大学等を訪問するなどして全力で取り組んでいく。

公約の実現について

現を目指していく。

問 市長の公約は、これまで市が実施してきた施策や第7次総合計画の施策から市長が優先的に取り組もうとする5点を抽出したと受け止めてよいのか。

答 公約として掲げた5つのビジョンは、これまでの活動を通じて寄せられた市民の声と私の想いを融合し、経済の持続的発展と若者の夢と希望のかなう市政を目指すため重点的に取り組むべき施策として具現化したものである。

公約の実現には、市民との対話、国・県とのパイプと近隣自治体や関係団体との結び付きの強化を図るとともに、現在の鹿角市政を取り巻く状況を踏まえて、透明で公正な市政の実現に向けて新たなスタートを切らなければならないと考えている。ビジョンの実現に寄与する事業を行うに当たり、これまで市が進めてきた事業であっても、従来の考えを踏襲せず市民のために必要な事業であるのか再考し、実施計画や当初予算について必要な見直しを行っている。

第7次総合計画との関係は、計画自体が策定の過程で市民の意見が反映されたものであるため、計画との調和を図りながら公約の実



録画配信はこちらから

質問した項目

- 公約の実現について
- 鹿角市の存続について
- 行財政運営について
- 高齢者対策について
- たばこを吸う人と吸わない人の共存について

(会派)

鹿真会・公明

(田村 富男 議員)

質問時間 60分



問 世紀越えトンネル建設についての市の考えは。

答 昨年度、国土交通省において八戸鹿角圏域間が構想路線の計画に位置付けられ、大きく一步を踏み出したと捉えている。

人や地域の活力を生む交流促進について

問 首都圏の大学との域学連携プログラムの計画の内容は。

答 鹿角キャンパス構想推進ネットワークを構築し、学生の受け入れやサポートを行いながら武蔵野大学とともに中心市街地の活性化に関する研究とUIターンによる起業の可能性に関する研究を進めていく。

質問した項目

- 人や地域の活力を生む交流促進について
- 対話、交流による透明で活力ある市政について
- 市制50周年について
- 医師確保対策について
- デジタル化について
- 就労支援について
- 新型コロナウイルス感染症について
- 世紀越えトンネル建設について
- 世界遺産登録による今後の課題について
- 新エネルギーと再生可能エネルギーについて
- 鹿角の統合校について
- 官製談合第三者委員会について

(会派)

誠心会

(成田 哲男 議員)

質問時間 60分



答

大学医師局への医師派遣要望に加え、東京都を中心とした関

問 医師確保対策について産科医を含めた医師確保対策を強化する手段と見込みは。

答 県では今年度、航空測量を実施し遺跡分布調査を行うなど、ルート選定に向けた調査を進める予定となっている。また、縄文遺跡群保存活用連絡会議・鹿角会議」を設置し、活用に向けた協議を進めている。

問 大湯環状列石の県道移設について、県の方針と県との協議状況は。

答 県では今年度、航空測量を実施し遺跡分布調査を行うなど、ルート選定に向けた調査を進める予定となっている。また、縄文遺跡群保存活用連絡会議・鹿角会議」を設置し、活用に向けた協議を進めている。



録画配信はこちらから